

[前画面へ戻る](#)

科目名	精神看護学 I (概論・精神疾患と看護)
科目名(英訳)	Psychiatric-Mental Health Nursing I (Concept and Theory, Mental illness and Nursing)
科目ナンバー	LK285D03
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	渋谷菜穂子 福嶋 美貴
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: LK 選択:
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	本科目は学科専門科目の中の、精神の健康を護るための「看護介入科目」であり、精神の健康問題をもつ人々への援助、および健康な人々に対しても心の健康を保持増進できるような援助方法を学ぶ科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①-(2):◎ ②-(1):○ ②-(2):○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	コミュニケーション力 傾聴・受信力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	本科目は学科専門科目の中の、精神の健康を護るための「看護介入科目」であり、精神の健康問題を持つ人々への援助方法を学ぶ科目である。精神の健康に問題を持つ人々の精神症状、精神科で扱う主な疾患や精神科で行われている治療及び看護の基本的知識を学ぶとともに、精神疾患を持つ患者への具体的な援助方法を学ぶ。 【実務経験のある教員等による授業科目】 教員1: 渋谷菜穂子 実務経験内容: 看護師として11年の実務経験(単科精神科病院、及び大学病院の外科病棟・内科病棟・小児外科にて勤務) 授業内容との関連性: 看護師としての実務経験を踏まえて、他者との人間関係の取り方や必要なソーシャル・スキルに関する基礎知識や基礎技術について講義・演習を行う。 教員2: 福嶋 美貴 実務経験内容: 精神科看護師として総合病院の精神科、単科精神科病院にて通算10年の実務経験がある。精神疾患を持つ者のみならず、身体合併症を持つ当事者の看護にも取り組んだ。 授業内容との関連性: 看護師の実務経験を踏まえて、患者—看護師間の対等な関係性構築のための、当事者との向き合い方の基本姿勢を教育する。														
具体的 達成目標	精神の健康に問題を持つ人々の精神症状、精神疾患、精神科における治療と看護の基本的知識を基に、具体的な援助方法について説明できる。														
	<table> <tr> <td>1</td><td>【内容】 精神障害の理解</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>【内容】 意識障害、知覚障害、思考障害の理解</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>【内容】 自我意識障害、記憶障害、発達障害の理解、知能障害、高次脳機能障害の理解</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。</td></tr> <tr> <td>【内容】</td><td>発作の理解、薬物依存の理解、アルコール性精神障害の理解</td></tr> </table>	1	【内容】 精神障害の理解	【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。	2	【内容】 意識障害、知覚障害、思考障害の理解	【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。	3	【内容】 自我意識障害、記憶障害、発達障害の理解、知能障害、高次脳機能障害の理解	【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。	【内容】	発作の理解、薬物依存の理解、アルコール性精神障害の理解
1	【内容】 精神障害の理解														
【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。														
2	【内容】 意識障害、知覚障害、思考障害の理解														
【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。														
3	【内容】 自我意識障害、記憶障害、発達障害の理解、知能障害、高次脳機能障害の理解														
【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。														
【内容】	発作の理解、薬物依存の理解、アルコール性精神障害の理解														

60 精神看護学（概論・精神疾患と看護）

授業計画	4	【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	5	【内容】	精神障害者に関する処遇と法の歴史と関連事件の理解				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	6	【内容】	精神保健福祉法の理解、入院形態、行動制限及び患者の人権				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	7	【内容】	社会復帰施設の理解、心身喪失者医療観察法の理解				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	8	【内容】	統合失調症の理解				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	9	【内容】	統合失調症の看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	10	【内容】	気分障害(うつ病・躁うつ病)の理解				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	11	【内容】	気分障害(うつ病・躁うつ病)の看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	12	【内容】	神経症性障害の理解及びその看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	13	【内容】	パーソナリティ障害、摂食障害の理解及びその看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	14	【内容】	睡眠障害、性同一性障害の理解及びその看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	15	【内容】	精神科における治療及びその看護				
		【授業外学習】	事前に教科書を中心に必要な学習内容を伝えるので、予め目を通して授業に臨むこと。授業でわからなかった内容は、自分で調べたり教員に質問するなどして理解できるようにすること。				
	授業方法	講義形式が中心となりますが、適宜視聴覚教材などを取り入れて、出来るだけ授業内容を理解できるように工夫します。					
	成績の評価方法	11回以上の出席を持って評価の対象とし、期末試験の受験資格を認めます。授業態度、期末試験などを総合して評価します。					
	成績の評価基準	期末試験(90%)、出席及び授業態度(10%)の割合で点数化して、100点満点中60点以上を合格とします。					
	教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
		1.	『新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健』	岩崎弥生	メヂカルフレンド	2530	
		2.	『新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』	岩崎弥生	メヂカルフレンド	4400	

 参考文献	
 備考	教科書以外にも適宜参考文献を提示します。
 関連 ホーム ページ	
 メール アドレス	渋谷 菜穂子 sge3722@fsc.chubu.ac.jp 福島 美貴 sdt1871@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)